

つくる会 FAX 通信

第 218 号 平成 19 年(2007 年) 12 月 17 日(月) 送信枚数 1 枚

TEL 03-5800-8552 FAX 03-5804-8682 <http://www.tsukurukai.com>

教科書検定制度を守れ！第 4 弾

沖縄戦「集団自決」検定問題で緊急集会

12 月 20 日午後 1 時 衆議院第二議員会館第一会議室へご参集を

沖縄戦「集団自決」検定問題の解決のために活動する「教科書検定への政治介入に反対する会」は、12 月 20 日午後 1 時より衆議院第二議員会館において、4 度目となる緊急集会を行います。

本問題は今週中にも文科省が「訂正申請」に対する最終結論を出すこととなっており、現在も予断を許さない状況が続いております。

「新しい歴史教科書をつくる会」は前の 3 回の集会に引き続き、今回の集会にも全面的に協力、積極的に参加していくこととします。問題はよいよ山場です。年末のご多忙の時期ではございますが、会員各位におかれましては、問題打開のために、是非奮ってご参加をいただきますようお願い致します。

集会の詳細につきましては以下をご参照ください。

尚、FAX 通信第 217 号で、今回の集会の開催時刻を午後 1 時半より、とお知らせいたしましたが、午後 1 時に変更となっております。ご注意くださいますようお願い申し上げます。

【趣旨】

文科省が 12 月初旬、教科書会社の訂正申請に対して、検定意見は撤回せず「軍命令」という断定的な記述は認めないとする「指針」を示したのは、全国の有志国民の良識と行動がそうなさしめたとはいえ、その限りで評価すべきだ。

しかし他方で、集団自決に至る「複合的な背景、要因」の詳しい記述を求めるなど、再度の訂正申請を求めている。これは実質的な検定意見の撤回であり、そうならば、むしろ軍の強制を根拠づける記述となることは明らかだ。

自決で散華された方々、遺族、当時現地の軍関係者、沖縄県民、そして日本国民及び日本国の名誉を守る道、そして検定制度を守る道は、ただひとつ、再訂正申請を承認しないことだ。その最終決着は間もなく下される。我々はその内容に応じ、文科省のみならず福田政権そのものに対して、不退転の決意をもって意思表示をする。

日 時 12 月 20 日(木) 午後 1 時～2 時

会 場 衆議院第二議員会館 第一会議室

主催者 教科書検定への政治介入に反対する会(小田村四郎代表)

登壇者 小田村四郎 中村繁 藤岡信勝 ほか

「文科省を叱咤激励する集会」第 2 弾を開催！ 多くのご参加を！
12 月 20 日午前 11 時半より 東京丸の内・文部科学省ビル前

新しい歴史教科書をつくる会(東京支部・三多摩支部主催)は、上記集会に先立ち、12 月 20 日午前 11 時 30 分～13 時までの間、JR 東京駅丸の内南口の文部科学省ビル前(千代田区丸の内 2 丁目 5)にて、「文科省を叱咤激励する集会」を行います。是非こちらにもご参加ください。

以上